

○1人1台端末の効果的な活用



小国
6年

単元名：「〇〇小SDGsプラン集
読み手が納得できる提案文を書こう」

見いだす -題材の設定、情報の収集、内容の検討-

第1時

○学習の見通しをもつ。

使用ツール：表計算アプリ（Excel、スプレッドシート等）

最近、SDGsに関する話題をよく耳にしますね。自分たちの身近なところでも、持続可能な社会を目指してできることはないでしょうか？自分の考えが相手に伝わる提案文を書き、「〇〇小 SDGsプラン集」としてまとめ、隣の学校の友達に伝えてみましょう。



○モデル文を読み、説得力のある文章を書くためにはどのようなことに気を付ければよいかを考える。



気付いたことをシートに打ち込んでいきましょう。
友達がどんなことに気付いたかも確認してみましょう。

授業改善のポイント

「提案文を書くためのポイント」を教え与えるのではなく、児童自身に気付かせ、共有を図ることで、主体的に学習に取り組むことができるようにします。

モデル文を読んで模範文を書く際に大切にすることをお知らせしよう。

名前	見付けたこと・気付いたこと
○○ ○○	伝えたいことが項目ごとに分かれていて読みやすい。
△△ △△	具体的な課題を示してから、自分の提案をわかりやすく書いている。
□□ □□	提案内容が具体的だから、すぐに取り組みそう。
◇◇ ◇◇	図やグラフを引用しているから読んでいて『なるほど』と思える。

共同編集シートによる気づきの共有

第2時

○自分が課題とする環境問題について調べる。

参考文献・参考サイトリスト					
	著書名・サイト名	著者など	発行者	発行（公開）年月日	URL
1	「身近な食糧問題」	奥野 太郎	ピラカツ出版	2022.1.12	
2	「食糧問題の今」	千葉 花		2022.10.30更新	https://www.kikkou.jp/
3					
4					

表作成機能を生かした参考図書・サイトリスト

使用ツール：インターネットブラウザ、
表計算アプリ、文書作成アプリ等

著作物には「著作権」という権利があり、使用には制限があります。

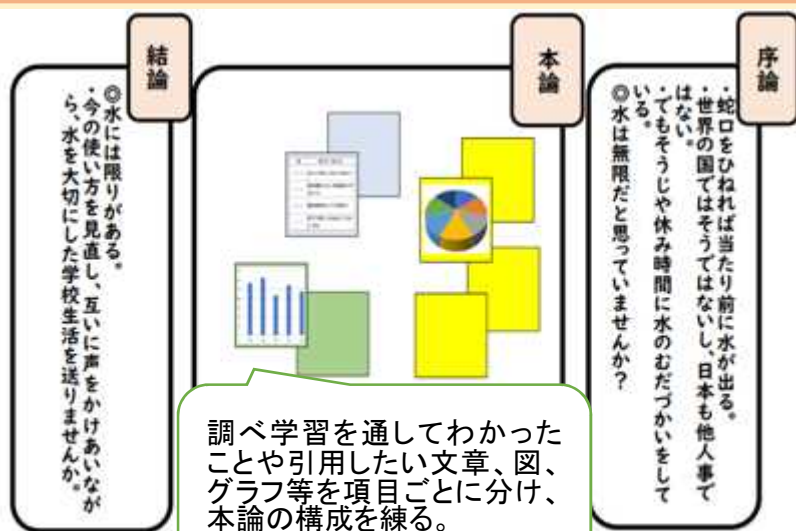
資料を「引用」する場合には「出典」を示す必要がありますので、集めた資料の書名や著者、発行者、発行年、サイト名、URL等を必ず残しておきましょう。



自分で取り組む 構成の検討 ／ 考えの形成、記述

第3時 ○「序論・本論・結論」の構成について考える。

使用ツール：
プレゼンテーションアプリ、
ホワイトボードアプリ、
文書作成アプリ等



例えば、序論では「課題提起」、本論では、「意見とその根拠、具体的な提案」、結論は「まとめの意見」を伝えます。

調べたことを付箋にして、構成や論の展開を練りましょう。



授業改善のポイント プレゼンテーションアプリや付箋等による共有ソフトを活用した構成の検討

提案が相手にとって納得できるものにするために、本論で扱う資料や自分の考えを構成表にわかりやすくまとめる活動を行います。

ICTを用いれば、文章の展開や論の順序の工夫等について共有できます。

構成には複数の種類があります。「序論-本論-結論」でも、統括する内容の位置により、「頭括型（序論で統括）」、「尾括型（結論で統括）」、「双括型（序論、結論で統括）」があります。

児童の思いや考えに応じて、どの構成がより相手に伝わるかを考えさせることも有効です。

第4～6時 ○「序論・本論・結論」を書く。

使用ツール：文書作成アプリ、
プレゼンテーションアプリ等

構成表をもとにして、序論・本論・結論の役割を意識しながら、それぞれ一つずつのスライドに文章を書きましょう。



授業改善のポイント

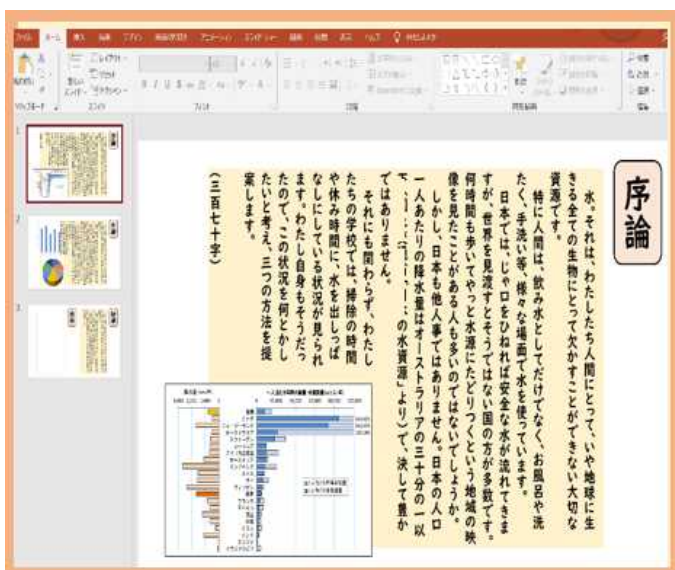
文書作成アプリを用いる方法もありますが、プレゼンテーションアプリを用いて、スライドごとに「序論」「本論」「結論」を作成することで、「構成意識」をもたせることができます。



タブレットだから書き直しが簡単だ。



その分、丁寧に推敲ができますね。「書き表し方」をさらに工夫できるとよいですね。



プレゼンテーションアプリを活用した提案文の記述

広げ深める 推敲 / 共有

第7・8時

○文章を読み合い、感想や意見を伝え合う。意見を参考に文章を推敲する。

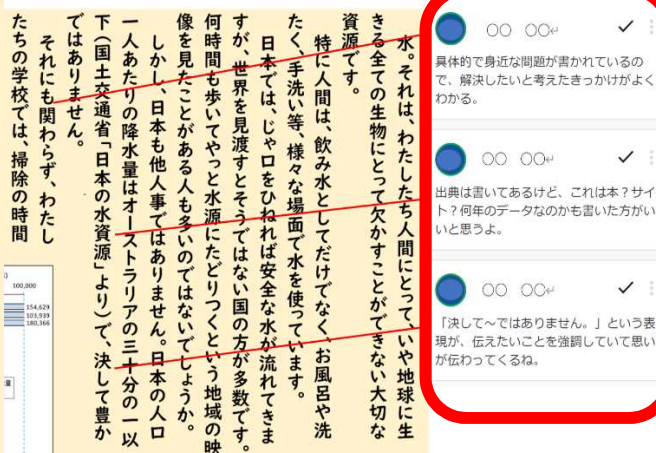
使用ツール：文書作成アプリ、プレゼンテーションアプリ等

友達からのコメントを基に、自分の提案文のよさについて発見したり、もう一度推敲したりして、自分の考えが伝わる意見文にしましょう。



授業改善のポイント

コメント機能を用いて、共有活動を行うことで、提案文を書くために必要なことに改めて気付いたり、考えを広げ深めたりすることにつながります。



コメント機能を活用した共有、推敲活動

まとめあげる 清書 / 共有 / 振り返り

第9時

作成した「序論・本論・結論」を組み合わせて提案文を完成させる。

自分が工夫して書いたところに気付いてもらえて嬉しかったです。
出典の示し方で伝わりづらいところがあったので、書き足しをしました。

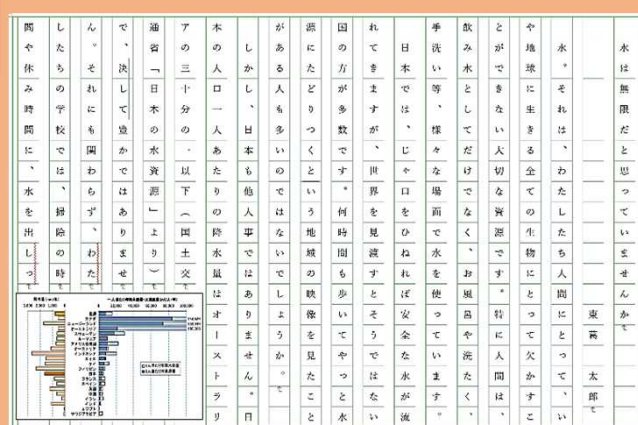


使用ツール：文書作成アプリ等

授業改善のポイント

ICTを活用してきたことで、「構成」や「表現の工夫」を意識した下書きが完成します。

清書については、言語活動の目的や実態に応じて、ICTか手書きかを選択することができます。



文書作成ソフト等を活用した資料入りの提案文作成

第10時

清書を読み合う活動を行い、学習を振り返る。

使用ツール：表計算アプリ等

単元の学習を振り返ろう

名前	わかったこと・できたこと 今後に生かしたいこと・さらに頑張りたいこと 楽しかったこと・難しかったこと 等
東葛 太郎	提案を受け入れてもらうためには、「何が問題なのか」、「自分はどう思うのか」、「どう解決すればいいか」をわかりやすく伝えることが大切だとわかりました。事実を伝える際に、引用の仕方や出典の示し方に気を付けて提案文を書くことができました。これからも文章を書くときには今回の学習を思い出して書いてみようと思います。

共同編集シートによる振り返りの共有

「〇〇〇小 SDGsプラン」の清書ができました。この単元で学習した提案文を書く際に大切にしたいポイントを思い出しながら友達の提案文を読みましょう。

学習の振り返りをシートに入力しましょう。



共同編集シートに振り返りを入力することで、本単元の学びを共有することができます。

第1時で入力したシートと見比べることで、学習の深まりを実感させることにもつながります。